

2025 年 1 月 8 日

当院の入院診療を受けられた患者さんへ

「 骨軟部腫瘍手術症例における手術手技の有用性の比較 検討 」 への協力をお願い

整形外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011 年 1 月 1 日～2024 年 10 月 30 日の間に、当科において、骨軟部腫瘍に
対して手術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：骨軟部腫瘍に対する手術は、患者さんごとに個別に手術法を検討しており、決まった手術法は存在しません。そのため、術者の経験や技量により手術にかかる時間や出血の量、術後合併症の発生率が、他の一般的な手術と比較して、施設や執刀医によって大きく異なることが予想されます。しかしながら学会報告などで手術手技についての報告は非常に少ないため、施設ごとのいわゆる“コツ”は、その施設のみに蓄積されているのが現状です。有用な手技については広く共有されることが、手術手技の均てん化につながると考えられるため、当科における手術手技の工夫について、広く学会発表や講演を行うことを目的として、調査を行います。

研究に用いる情報の項目：診療録より収集された、性別、年齢、病名、手術日、手術時間、出血量、手術手技、手術部位、体位、用いたデバイス、切除範囲、予後についての情報。これらは全て日常診療で実施された項目です。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 1 月 10 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 整形外科
氏名：永野昭仁

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 整形外科
電話番号：058-230-6333
氏名：永野昭仁

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp